

## 社員の密かなささやき！

南但店 夜久 隆一

私の所属している部署は、シロアリ以外の害虫全般の対策や食中毒対策などの衛生管理に対応しています。主な業務は、飲食店、ホテルの厨房、食品工場などで契約をいただいて定期的な点検や防除作業を実施したり、本社の研究室と連携して環境や食材の検査を行い、それに基づいたさまざまな提案をさせていただいております。

また、一般住宅における害虫の相談もお請けしております。

対象となる昆虫や動物、あるいは菌、ウィルスの種類はあまりにも膨大で、対応する薬剤や処理方法もさまざまなものがあり幅広い知識が要求されます。

入社するまではこれらの知識が全くなく苦勞しました。それでも知識の習得を目指して、種々の資格取得にも挑戦しています。

昆虫や動物の生態や行動は奥深く、必ずしも教科書に書いてある通りの行動をするとは限りません。

10年以上たった今でも、自分の勉強不足、経験不足を感じていますが、この難しいところが面白さかも知れません。これからも日々勉強して、お客様により良いサービスが提供できるよう頑張ります。 以上



## 今回は動物コラム その5

私たちの仕事はハチ、ゴキブリ、シロアリなどの害虫全般の駆除だけでなく、食中毒菌などを伝播し問題となるネズミの駆除・管理も承っています。今回はいつもの虫コラムではなく、ネズミについてお話します。

日本には18種類のネズミが生息していますが、家の中に入ってくる主なネズミは3種類です。

大型で獐猛なドブネズミ、中型なクマネズミ、そして小形のハツカネズミです。ハツカネズミの語源については、妊娠期間が20日程度であることからこの名前がついたといわれています。

ネズミは繁殖力が強いことから、急激に増える例として「ネズミ算式に増える」といわれます。ネズミ算については、江戸時代の数学書である「塵劫記(じんこうき)」にかかれたものが最初といわれています。

で、その内容は、

「現代語訳 正月にネズミのつがいが現れ、子を12匹産む。そして親とあわせて14匹となる。このネズミは二月に12匹ずつ産むため、親と合わせて98匹になる。このように月に一度ずつ、親も子も孫もひ孫も月々に12匹ずつ産むと12ヶ月でどれくらいになるかという、276億8257万4402匹となる。※ウィキペディアより抜粋」

実際は産まれる数は4～9匹前後であったり、産まれてから親になるまで2ヶ月程度かかるなど、こんなに上手くは増えませんが、それにしてもこの繁殖力には驚かされます。

少子化で悩んでいる我々にとっては羨ましい!?限りです。(吉田貴)



## ささやかプレゼント

今回は丹波の三國屋さんのお饅頭

〈締切は10月30日到着分まで〉

お饅頭といえど冷凍食品なのです。食べていただく時にちょうど解けるのもあり、普通のお饅頭としても乙なものです。冷凍しておけば日持ちも良く、ロスも少なくなるでしょうし、うまいこと考えられたものです。で、実際旨い。

2,500円相当にして、7名の方に差し上げます。ご応募は同封のはがきのみでお願い申し上げます。ご意見などもお待ち申し上げます。尚、勝手ながらホームページ上からはご応募頂けません。(内容と当選は関係ございません)

前回のプレゼント当選者は松本康廣様、伊藤金太郎様、小川広司様、はちぶせの里様、菱沼猛雄様、以上5名の方々にお届け申し上げます。



## ●今年も…

ハチの巣の駆除を多くご依頼をいただいています。小さなうちの巣の駆除がご安心です。早いうちに弊社にご連絡を！ 被害にあわないための用心策「白いものを着用しましょう」頭にも白帽子か、白いタオルを巻いてお仕事されることをお勧めします。

## あとがき

七月のある日、綾部市内のマンションでの仕事で、休憩するため階段を下りようとすると、手すりで雀が鳴いていた。

驚かしてはいけなないと、相槌を打ちながらしばし待機。そして階段に座り込み動かさずにいた。(ささやかな配慮)

それでも相槌だけは続けながら、時々「おいで」といつてみる。すると近づいてきたので手を広げてみるとさらに近寄ってくる。そしてなんとあろうことか我輩の手のひらに乗った。そっと手を閉じても逃げる様子もない。手のひらにゆっくりすっぽりと包み込んでから、相方に「雀を捕まえた。写真を撮って欲しい」と頼んでから、そっと手を広げて写真の状態にしても逃げない。



野生の雀とはとても思えないが、雀を飼っている人などあるのだからか？しぼらくして管理人さんがお越しになって、お話をしなければならず、構ってやらなかったから飛び出してしまった。後になつて、万に一つもない機会だったと名残惜しさ一杯。

かつて小鳥を飼ったことなど全くなく、柴犬を行方不明になるまで約十年間飼ったことがあるだけで、動物達と会話が出来るとはとても思えない。ならば何か良いことの前兆と考えてみても今日までは何も起こってない。

結局、気休めのためのささやかなプレゼントだと思ふことにした。そんなに疲れてなどないけれど…。

数日後、再び訪れたが雀のいる気配などまったくなく、後の祭りとはこのことなり。

(安橋)

\*裏面はメモとしてお使いください。